

飯田市 歴史 ニュース



News-Letter NO.15
発行日 2005年4月5日
発行 飯田市歴史研究所
〒395-0002
長野県飯田市上郷飯沼3145
電話 0265-53-4670
ファクシミリ 0265-21-1173
E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

飯田市歴史研究所 平成17年度の事業概要

歴史研究所が今年度計画している各種事業の概要をお知らせします。

調査研究活動

○基礎共同研究

特定のテーマに基づき共同研究を行います。研究所スタッフを中心に、みなさんにも広くご参加いただけるよう、活動の幅を広げます。

A 史料の所在調査

飯田市・下伊那地域に関する歴史資料について、所在情報を広く収集し、データカードを作成します。必要に応じて詳しい調査や保存措置を行います。

B 聞き取り調査

この地域に住む人が自身の声で語る歴史を、音声資料として残していきます。ご本人の了解を得られたものは、活字にして公開します。

C 拠点型・現状記録調査

史料が多く残されている家などについては、全ての文書を対象とした調査を行い、詳細な調査報告書を作成します。

D 歴史的建造物の所在状況調査と研究

「地域に残したい建物」を、地区ごとに選出いただき、その所在状況を調査します。専門的な建物調査も順次実施します。

E 教育史・学校史研究

学校に残されている史料を中心に、所在状況およびその内容を調査し、保存・利用のできる環境を整えます。関連する地域史料の調査もあわせて行います。

F 下伊那の戦時体制研究

地域に残されている近現代史料の整理を行い、戦時体制を中心テーマとする史料分析を、共同で行います。

○基礎研究

研究員・調査研究員・顧問研究員等が各々のテーマを設定し、研究を進めます。

今年度の研究テーマ事例

- 農業雑記にみる近世下伊那の農業技術
- 下伊那郡における地方行財政の展開
- 伊那自由大学
- 明治期の高等小学校
- 近現代地域社会経済史
- 近世下伊那南部の村落と地域社会
- 戦後の精密・電気機械工業と地域構造の転換
- 戦後地域文化と青少年集団
- 地主小作関係と地域社会 ほか

(詳しくは「研究計画書」をご参照ください)

○月例研究会

研究所スタッフ等による研究報告会を、毎月1回公開で行います。研究活動に関して広くみなさんのご意見をいただく場とします。

出版活動

○年報 第3号

○松尾森本家調査報告書

○市制70周年記念刊行物 発行に向け準備を進めます。



教育活動

今年8月末、飯田が生んだ20世紀を代表する歴史家である古島敏雄(1912-1995)の没後10年を迎えます。飯田市歴史研究所では「古島敏雄の人と学問」を見直すために、様々な企画にとりくむことにしました。

○飯田アカデミア

最先端の歴史研究を、わかりやすくお話しします。今年度は「シリーズ:古島敏雄の人と学問」を織り交ぜながら年間6回の開催を予定しています。(詳しくは2ページをご覧ください)

○研究集会

8月27日(土)・28日(日)開催予定

1日目 シンポジウム

テーマ「古島敏雄の人と学問」

2日目 飯田・下伊那地域を対象とする、歴史学・民俗学などの研究発表

○ゼミナール

平成16年度に引き続き近世史ゼミ、近現代史ゼミ、現代史ゼミを開講します。(ゼミの内容については3ページをご覧ください)

他にも、市民を対象とした学習会や、ジュニア向け講座などを企画します。

○歴史研究活動に対する助成

平成16年度と同様、飯田・下伊那地域を対象とするオリジナルな歴史研究の成果に対して、審査の上助成を行います。



1 (第19講座)

5月^{14日(土)}
15日(日)

室町・戦国期の伊那谷と国政運営

講師:井原今朝男さん(国立歴史民俗博物館教授)

伊那谷には西岸寺、開善寺、文永寺など、室町幕府の官寺である諸山や、知久氏、小笠原氏、諏訪氏などの氏寺が集中している。それはなぜなのか。伊那谷出身の禅僧六与清啓が將軍義政の下で外交僧として二度も明に渡海したのはなぜか。文永寺の僧宗詢が、後花園天皇の下で醍醐寺での太元帥法に従事したのはなぜか。武田信玄によって焼かれた文永寺を再興するように命じたのは、後奈良天皇、正親町天皇であった。信長や信雄は、文永寺再興になぜ協力したのか。伊那谷と中世の国政運営との関係を考えてみます。

2 (第20講座)

6月^{18日(土)}
19日(日)

世界史を構想する

:1900年前後と1990年前後の世界

講師:南塚信吾さん(法政大学教授)

わたしたちは「世界史」というものを言葉では分かっていても、なかなか実感はできないものです。しかし、わたしたちの過去と現在は世界史と密接に関連しているはずなのです。これを実感するために、二つの時代の「世界史」を構想してみます。ひとつは、1900年前後の時代、つまり日清・日露戦争の時代で、今ひとつは1990年前後の時代、つまり社会主義の崩壊と湾岸戦争の時代です。これらの時代における世界の諸地域の連関と諸地域の抱える問題を検討してみましょう。

3 (第21講座)

7月^{16日(土)}
17日(日)

シリーズ:古島敏雄の人と学問①

信州の村々と古島史学

講師:青木美智男さん(専修大学教授)

かつて日本近世史研究を志す者が手にする入門書は、児玉幸多さんの『近世農民生活史』と古島敏雄さんの『日本封建農業史』でした。お二人から近世の村や農業生産の移り変わりを学び、本格的な研究に入るのが普通でした。次いで古島さんの専門的な研究書を手にして、その学識の広さと深さに圧倒されたのです。お二人とも信州生まれで研究の基点も信州です。信州の村々を素材に豊かな歴史像を描いた古島史学の真髄に迫ってみましょう。

■時間

1日目(土曜日) 13:00~16:30
2日目(日曜日) 10:00~14:30

■会場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷庁舎)
3F会議室

■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)

■お申込方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

★諸事情により、日程等が変更となる場合があります。「歴研ニュース」や市広報でお知らせして参りますので、ご注意ください。

★いずれの講座も90分間の講義を4回、2日間に行われます。

月例研究会

月に1度研究所員が研究内容を報告し、自由な意見交換を行っています。興味のある方は気軽にご参加ください。事前の申込みは必要ありません。

4月の月例研究会

両大戦間期の地域金融構造

—第百十七銀行の事例を中心に—

◆日時 4月23日(土) 午後2時~4時

◆報告者

田中雅孝(歴史研究所調査研究員)

◆内容

両大戦間期は金融恐慌、昭和恐慌、戦時経済と大変動の時代でした。この時期に下伊那地方は全国でも有数の組合製糸地帯となり、現代までつながる独特の地域金融構造が形成されました。地方銀行の第百十七銀行をとりあげて金融危機への対応過程を中心に地域金融構造の特質を検討します。

5月の月例研究会

城下町飯田と「市場古法」

◆日時 5月21日(土) 午後2時~4時

◆報告者

吉田伸之(歴史研究所・東京大学教授)

◆内容

この報告の目的は、城下町飯田町方における市と商いの性格について考察することにあります。中央図書館所蔵「御城下町古法并市場古法書拔書集」を主な素材として、元禄末~宝永初「横町商売」一件と、享保期はじめの「塩・肴出入」一件を分析しました。

会場:いずれも歴史研究所研修室(市役所上郷庁舎2階)で行います。

歴研ゼミナール

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指します。

歴史研究所では歴研ゼミナールとして、近世史、近現代史、現代史と3つのゼミを開講しています。各ゼミとも4月からの新たな参加者を募集しています。どなたでも気軽にご参加ください。

近世史ゼミ

■テーマ 近世下伊那の民衆生活史
 ■対象 一般(どなたでも)
 ■開催日 隔週火曜日
 ■時間 午後7時～8時40分
 ■担当 多和田雅保(研究員)
 『長野県史』など活字史料の精読をして、江戸時代の飯田・下伊那地域における都市と農村、支配と自治、自然との関わり、文化活動など、民衆生活にまつわる歴史資料の読解方法を身につけます。

現代史ゼミ(英語文献講読)

■テーマ 地域社会とグローバリゼーション
 ■対象 高校生以上
 ■開催日 隔週水曜日(前期:4月～9月 後期:10月～3月)
 ■時間 午後7時～8時30分
 ■担当 鬼塚 博(研究員)
 環境・貿易と金融・文化の3つのテーマをとりあげます。テキスト講読が1時間、残りをビデオ・英文雑誌等の記事をからめて進めていきます。今期はグローバル化と地元・地域で起こる社会現象との関係にも目を配っていきます。

近現代史ゼミ

■テーマ 地域社会史入門～飯田町の記憶を探る
 ■対象 一般(どなたでも)
 ■開催日 隔週木曜日
 市井に暮らす庶民の「記憶」に耳を傾けることから地域史の方法を探求するために、戦前期の飯田町に子ども時代を過ごした人々からの「聞き書き」調査を進めます。こうしたさまざまな人々の記憶からなる「個人史」や「地域史」を20世紀の歴史の大きな流れとしての「全体史」とを重ね合わせて考えていくために、文献講読を並行して進めます。また、歴史景観と地域づくりを結びつけて歴史認識を深めるために、地域フィールドワークや他地域への小旅行を実施する予定です。自分の足下の日常生活から歴史を考える場ですから特に歴史の予備知識は必要ありません。興味のあるかたの参加をお待ちしています。

■時間 午後7時～8時40分
 ■担当 田中雅孝(調査研究員)

★各ゼミとも歴史研究所研修室で行います。詳しくは歴史研究所へお問い合わせください。

2月～3月のゼミ内容

近世史	2月8日	史料研究「金比羅第代参講の南条村他数ヶ村の人々の規約」	現代史 (英語文献講読)	“The Globalization of World Politics” (Smith & Baylis, 2001) の講読
	2月22日	史料研究「困窮する宿場町」		2月2日 The Westphalian order
	3月8日	今期の反省と来期の計画		2月16日 The end of sovereignty
	3月22日	「歴史資料調査の方法」(多和田雅保研究員)		3月2日 Post-sovereign governance
近現代史	2月10日	聞き取り調査 次期計画	3月16日 Challenge of global democracy	
	2月24日	研究報告「それからの羽生三七」	3月30日 Global market democracy?	
	3月10日	研究報告「飯田市のまちづくりから」		
	3月24日	聞き取り調査の反省と次期計画		

歴史研究活動助成

歴史研究所では、歴史研究を行っている個人または団体に助成を行っています。平成16年度に申請いただいた方々の内、審査の結果次のみなさんを助成対象とさせていただきました。

- 久保田賀津男 「『伊那谷の峠』記録作成」
- 坂口 正彦 「1930-50年代下伊那地方における農村社会運動の展開」
- 三ツ松 誠 「伊那における平田国学の伝達作用の諸相」
- 江下以知子 「長野県飯田市の都市構造の近代化ー長姫橋築造工事を中心として」
- 木下 和子 「日本のナショナルリズムとその基底」

歴史的建造物調査



2月6日(日)・7日(月)、基礎共同研究歴史的建造物調査の一環として、市内伝馬町の町屋建築の調査を行いました。東京大学大学院工学系研究科伊藤研究室のスタッフに、今回は歴史的建造物コーディネーターの方々も研修をかねて10人参加。所有者の方に多大な御協力もいただき、建造物の測量調査はもちろん、建物の成り立ちについて聞き取り調査も行うことが出来ました。この町屋建築は大火直後の昭和22年11月の建造で、大火前の町屋建築の形式を継承しつつ、新しい主屋建築の様式を展開した大火復興の典型例です。参加したコーディネーターの方々も「一度は入ってみたかった」といつも思われていた方が多く、市内でもとても印象深い建造物の一つとなっています。

歴史研究所(上郷支所庁舎)3階に整備を進めてきた「貴重書庫」が完成しました。

これは、昨年県宝に指定された「平沢文書」をはじめとする貴重な歴史資料を、遮光、温湿度管理などを行って適正に管理し、次世代へ継承していくための収蔵庫です。当面、保存のための中性紙箱が約400箱収納できる体制とし、将来棚を増設することによって約1,000箱納めることができるようにする計画です。

今後収蔵作業を進めて貴重な文書類の劣化・散逸を防ぐと共に、マイクロフィルムへの複写など閲覧に向けての作業も進め、地域の共有財産として活用できる体制を整えていきます。



歴研日誌 2月・3月

2月

- 1日 宮下彦氏から宮下功著「満州紀行」寄贈
実原綾子氏から「実原公男日記」寄贈
- 2日 現代史ゼミ
- 5日 座光寺史料調査会
- 6日 大洞昭人氏所蔵資料調査
信濃史学会セミナー講演「近世の都市の生活」
(吉田伸之)
- 6日～7日 市内伝馬町建造物調査
- 7日 景観講演会「歴史を生かした景観づくり」を開催。講師は伊藤毅顧問研究員(東京大教授)
- 8日 近世史ゼミ
- 10日 近現代史ゼミ
座光寺史料調査会
- 15日 市瀬繁氏所蔵資料調査
- 16日 いいだFM「島田村の孝子褒章史料」(多和田雅保研究員)
上郷黒田史料所在調査
- 17日 浜井町史料所在調査
- 18日 竹内基浩氏史料寄贈
- 19日 月例研究会「1950年代農村社会の変貌－竜丘村の事例－」(森武磨顧問研究員・一橋大教授)
川路歴史文化セミナーで「歴史資料調査方法」報告(多和田雅)
- 20日 『下伊那のなかの満洲3』発行
- 22日 史料研究ノート
近世史ゼミ

- 23日 座光寺史料調査会
- 24日 近現代史ゼミ
- 25日 高陵中発表会へ参加

3月

- 2日 現代史ゼミ
- 4日～6日 エコツアーリズム全国大会第10分科会「町並み保存再生とエコツアーリズム」参加
- 8日 近世史ゼミ
- 10日 近現代史ゼミ
浜井町史料所在調査
今宮町史料所在調査
座光寺史料調査会
- 12日 月例研究会「中国帰国者にとっての祖国の記憶－中国残留婦人を中心として－」(蘭信三顧問研究員・京都大助教授)
- 16日 いいだFM「明治期の座光寺村会記録にみる「自治」」(多和田真理子調査研究員)
阿智村史料所在調査
- 17日・18日 豊後高田市視察
- 19日 研究助成報告会
- 20日・21日 阿南町調査参加
- 22日 浪合村調査参加
岡田博達氏「伊那電気鉄道株式会社社報」他寄贈
- 23日 市内小学校史料調査
- 24日 市内小学校史料調査
近現代史ゼミ
座光寺史料調査会
- 30日 現代史ゼミ

4月・5月のスケジュール

2005年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	近 ¹²	英 ¹³	現 ¹⁴	15	16
17	18	19	20	21	22	月 ²³
24	25	近 ²⁶	英 ²⁷	現 ²⁸	29	30

2005年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	近 ¹⁰	英 ¹¹	現 ¹²	13	あ ¹⁴
あ ¹⁵	16	17	18	19	20	月 ²¹
22	23	近 ²⁴	英 ²⁵	現 ²⁶	27	28
29	30	31				

□ 開所日 □ 休所日 あ…アカデミア
 開所時間 午前9時～午後5時
 休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

近…近世史ゼミ
 現…近現代史ゼミ
 英…英語でよむ現代史ゼミ

